

みやぎのだより

No. 101

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年11月27日



婦人部研修旅行

CONTENTS

婦人部研修旅行開催	1	牛乳・乳製品料理コンクール宮城県大会	6
一迫・築館・瀬峰支部合同交流会	1	牛群検定～優良事例紹介～Vol.8	7
平成29年度 宮城県総合畜産共進会開催される	2	酪農技術シリーズ⑧	8
売りたいし、買いたいし	2	宮城県酪農動向調査について	9
畜舎環境美化コンクール参加募集	3	理事会通信	9
平成29年度 牧草地簡易更新事業	3	業務報告	10
平成29年度 生乳生産実績	4	編集後記	11
第11回全国和牛能力共進会宮城県大会に出展!!	5		
子育て応援団すこやか2017に出展!!	5		

婦人部研修旅行開催

指導課

9月4～5日、千葉県方面へ婦人部研修旅行を開催しました。

1日目は、遊覧船で古き良き時代を偲ばせてくれる「潮来十二橋めぐり」。水門を開けて出発すると、細い水路をくぐり水郷情緒を楽しみました。あいにくの天候でしたが、船は笑い声で溢れていました。宿泊先の「ぎょうけい館」は、太平洋が一望できるホテルで、全面ガラス張りの大浴場が海岸ギリギリの場所にあり、お風呂も海なのでは？という感覚でした。

2日目は、地球が丸く見える丘公園で、天気が悪くどこが海で、どこが空なのか分からず残念な景色でしたが、その名のとおり360度見渡せ、地球が丸いことを実感出来ました。

今回はバスでの移動時間が長く見学場所は少なかったものの、ショッピングを楽しみ、笑いが絶えない有意義な時間を過ごすことが出来ました。



一迫・築館・瀬峰支部合同交流会開催

指導課



9月2日(土)、(有)小山牧場の店舗「あいすむら」敷地内において、一迫支部、築館支部、瀬峰支部の組合員と青年部、婦人部の部員が一同に会して、親睦と融和、情報交換を図ることを目的として開催しました。

今回で17回目となる合同交流会は、来賓と組合員、ご婦人、子供達の総勢75名が参加し、豪華賞品の抽選会やバーベキュー等を行い、楽しい一日を過ごすとともに組合員の更なる親睦を深められ盛会裡に終了しました。

美里町のみやぎ総合家畜市場において、9月26日(火)宮城県畜産協会主催、平成29年度宮城県総合畜産共進会が開催されました。総頭数49頭が出品され第1区から第10区に区分され審査が行われました。当組合より乳用牛の部に多数出品がなされ、下記の方々が受賞されました。



宮城県総合畜産共進会

	区 分	名 号	出 品 者	
最 優 秀 賞	第3区 生後12ヵ月以上 16ヵ月未満	エイトロール ブロカウ ナナミーナ	大崎市	八巻 楓
	第4区 生後16ヵ月以上 20ヵ月未満	スイートファーム キヤニオン パツチー	登米市	鈴木 貴博
	第5区 生後20ヵ月以上 24ヵ月未満	スイートファーム RS コスモスター ET	登米市	鈴木 貴博

売りたいし、買いたし

バルククーラー

- ・メーカー/オリオン
- ・年 式/2012年式
- ・容 量/1000ℓ



購入希望者は、指導課までご連絡ください。また、農機具等を販売希望の方も情報をお寄せください。

畜舎環境美化コンクール参加募集

指導課

当組合では、昨年度に引き続き、畜舎や周辺の整備を図り、消費者に対する酪農のイメージアップを図るとともに、良質乳生産の基盤となるよう環境維持対策の一環として畜舎環境美化運動と畜舎環境美化コンクールを実施しております。

本年度も5月に婦人部の皆様のご協力をいただき、花苗を配付いたしました。

配付した花苗を基調として牛舎周囲に咲いた草花、花木の写真(L版4枚)をご準備いただき、平成29年12月22日(金)まで事務局へ提出をお願いします。

表彰式、研修会は3月頃を予定し、豪華賞品を準備いたしますので、コンクールに多数ご参加下さるようよろしくお願いいたします。



平成28年度 畜舎環境美化コンクール 最優秀賞作品
仙南支部 吉田明美さん

平成29年度 牧草地簡易更新事業

購買課

今年度も、7月に事業参加の希望を取り、草地更新を行なう圃場の現地確認を行いました。

8月下旬から、本所地区はシードマチック、仙南地区はシードマスターの追播機を使用し作業を開始しました。開始から雨の日が多く、9月中旬には台風が上陸し計画通り作業が進みませんでした。しかし、参加者の皆様の連携で、順番の変更など準備の整った圃場から追播作業を行うことが出来ました。

事業推進にあたり、参加者及び各関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

実績内容

- ①更新面積 34ha
- ②参加人数 8支部、10名(大崎・瀬峰・築館・一迫・遠田・白石・蔵王・角田)



平成29年度 生乳生産実績

販売課

宮城県(販売乳量)

4月～9月の受託乳量は58,193ト、前年同期比99.9%と前年並みとなっております。また、9月の出荷戸数は512戸と前年より17戸減少しております。

平成29年度 宮城県生乳受託販売実績

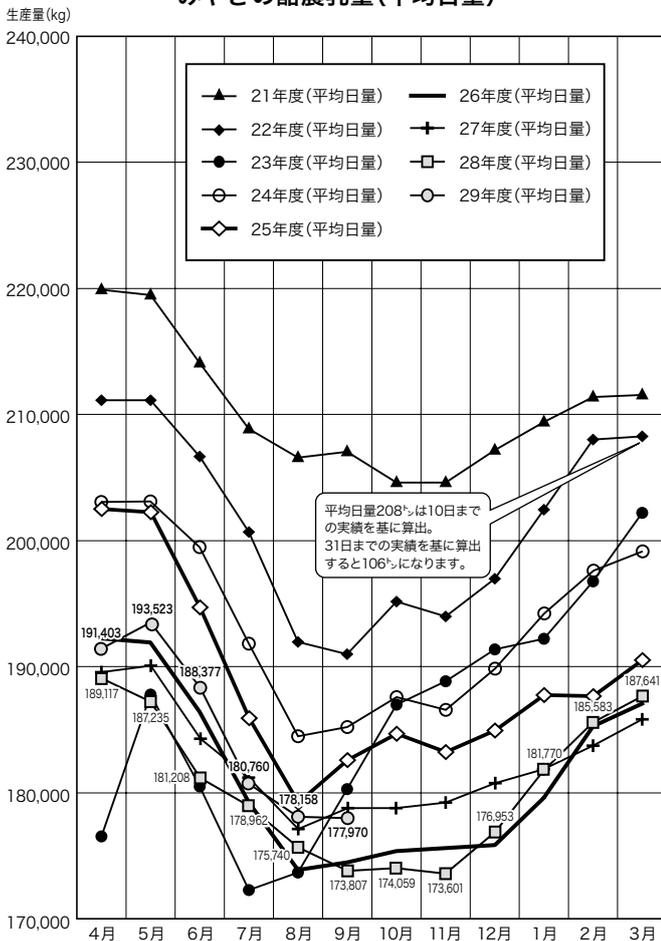
(単位:ト、%)

団体名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4～9月計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
みやぎの酪農	5,669	100.2	6,052	104.0	5,593	102.6	5,600	102.5	5,577	101.9	5,254	101.2	33,745	102.1
全農宮城	1,508	96.2	1,560	96.3	1,476	96.9	1,466	95.9	1,437	97.2	1,398	97.9	8,845	96.7
宮城酪農	2,668	97.5	2,769	98.5	2,598	97.6	2,579	96.3	2,545	96.9	2,444	96.8	15,603	97.3
宮 城 県	9,845	98.8	10,381	101.3	9,667	100.3	9,645	99.7	9,559	99.8	9,096	99.5	58,193	99.9

みやぎの(バルク乳量)

4月～9月の受託乳量は33,858ト、前年同期比102.2%と2.2%の増加となっております。また、9月の出荷戸数は290戸と前年より8戸減少しております。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成29年度生乳生産実績(4月～9月 標準進捗率50.14%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	3,286,412.3	3,175,040.1	103.51	6,416,800.0	51.22
七ヶ宿支部	6	1,227,058.8	1,117,540.8	109.80	2,289,964.0	53.58
蔵王支部	26	4,051,600.1	4,129,324.4	98.12	8,242,155.0	49.16
柴田支部	18	2,113,015.0	2,120,432.0	99.65	4,235,113.0	49.89
角田支部	7	1,117,756.0	1,005,910.9	111.12	2,145,845.0	52.09
丸森支部	13	1,636,504.1	1,592,103.0	102.79	3,153,507.0	51.89
仙台支部	12	1,894,562.0	1,941,126.1	97.60	3,879,344.0	48.84
名取支部	6	439,939.0	502,852.0	87.49	961,322.0	45.76
黒川支部	8	669,166.0	795,201.0	84.15	1,400,428.0	47.78
大崎支部	21	1,789,343.0	1,783,305.0	100.34	3,626,724.0	49.34
遠田支部	16	3,064,680.0	2,944,306.0	104.09	5,946,902.0	51.53
加美支部	20	1,456,720.0	1,468,940.0	99.17	2,810,605.0	51.83
鳴子支部	13	1,078,734.0	1,196,462.0	90.16	2,309,079.0	46.72
一迫支部	12	1,537,081.0	1,494,317.0	102.86	2,966,924.0	51.81
築館支部	15	1,109,583.0	1,070,108.0	103.69	2,096,661.0	52.92
瀬峰支部	8	642,638.0	666,630.0	96.40	1,281,173.0	50.16
迫支部	13	2,340,687.0	1,820,626.0	128.56	3,722,005.0	62.89
中田支部	9	780,049.0	695,987.0	112.08	1,432,193.0	54.47
東和支部	7	628,912.0	632,551.0	99.42	1,237,517.0	50.82
志津川支部	9	703,481.0	608,230.0	115.66	1,260,516.0	55.81
本吉支部	11	533,758.0	539,406.0	98.95	1,070,549.0	49.86
石巻支部	6	546,722.0	581,429.0	94.03	1,097,936.0	49.80
豊里支部	12	1,209,750.0	1,242,202.0	97.39	2,359,738.0	51.27
みやぎの酪農	290	33,858,151.3	33,124,029.3	102.22	65,943,000.0	51.34

※出荷戸数については、直近の数字です。

第11回全国和牛能力共進会宮城県大会に出展!!

宮城県牛乳普及協会



9月7日(木)～11日(月)の5日間、夢メッセみやぎにて5年に一度の祭典である“全国和牛能力共進会宮城県大会”が開催されました。宮城県で開催が初ともあり、当協会では、全国の皆様に宮城の牛乳をPRしようと出店致しました。

牛乳試飲とパンフレット等配布を行い、たくさんの方々に宮城の牛乳を試飲していただき、「宮城の牛乳は美味しいな～」とのお声をいただきました。来場者数が5日間で42万人と多くのお客様が全国からお見えになり、宮城県の牛乳をPRして参りました。

子育て応援団すこやか2017に出展!!

宮城県牛乳普及協会

10月14日(土)、15日(日)にセキスイハイムスーパーアリーナ(グランディ21)にて“子育て応援団すこやか2017”が開催されました。台風の影響も心配されましたが、両日とも晴天に恵まれ約2万人の来場者で賑わいました。

イベントは子育てを行う親御さんや、小さいお子さんをメインとしたものとなっており、牛乳を試飲していただくだけでなく、実際に牛と触れ合うことができる牛の乳搾り体験コーナー、牛乳を使ってバターを作るバター作り体験コーナーや食育を通して、牛乳・乳製品のことをもっと知っていただこうと様々なコーナーを展開しました。



特に、乳搾り体験とバター作りが大人気で、たくさんの子供達の笑顔が溢れるイベントとなり、盛りだくさんの内容に大人から子供まで大いに盛り上がった2日間となりました。



今回のイベントを通して、成長期であるお子さんや親御さんも含め、牛乳・乳製品を摂ることの大切さや、牛から搾られた乳が皆さんの飲んでる牛乳となり、その牛乳を使ってバターなどの乳製品ができるという事を、来場者されたお客さんに知っていただけたらとの思いで臨みました。

牛乳・乳製品利用料理コンクール宮城県大会

宮城県牛乳普及協会

10月26日(木)仙台市民会館において、今年で38回目となる平成29年度牛乳・乳製品利用料理コンクールを開催いたしました。

家庭で手軽に作れる牛乳乳製品を使ったオリジナルレシピを募集し、牛乳乳製品に関心を持っていただき、料理に幅広く使用していただくことで消費拡大を図りました。

応募者数88名の中から、書類審査を通過した10名の方に実際に調理していただき、牛乳乳製品の活用法、手際、味で審査を行い、最優秀賞には山内千絵美さんの「champ de fleurs」が選ばれました。

今回、最優秀賞に選ばれた山内千恵美さんと、優秀賞に選ばれた林明さんの「夏野菜のミルク豚汁チーズ団子入り」は11月11日(土)に宮城調理製菓専門学校で開催される東北大会に出場していただきます。

今回出場された方のレシピや大会の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

URL <http://miyagi-milch.jp/>



山内牧場（やまうち ぼくじょう）

●牧場の概要（平成29年10月5日現在）

- *所在地：加美郡加美町米泉
- *飼養頭数：30頭（搾乳頭数25頭）
- *年間出荷乳量：約290t
- *補正乳量：約11,200kg／頭



山内 王雄さん



●牧場のこだわりと目指すもの

安定的な生産性の高い経営を目指して、繁殖管理と自給飼料の生産性の向上に取り組んでいます。

繁殖管理については2週間ごとに繁殖検診を受けており、獣医師との綿密な連携、日頃からの個体の観察及び牛群検定成績を活用しながら人工授精(AI)及び受精卵移植(ET)を実施し、分娩間隔は402日(10月5日現在)となっています。また、改良については子牛価格の高騰が続いている和牛のETも行っていますが、後継牛の確保が最優先であると考えており、乳牛の更新率20%～25%を考慮しながら和牛及びF1の交配を行っています。育成牛は町営の放牧場を活用し後継牛を自家育成牛で対応しています。



自給飼料は近隣の酪農家を構成員とした飼料作物の生産組合により、共同で収穫調製作業をしています。現在、牧草7ha、飼料用トウモロコシと飼料用ライ麦の2毛作でそれぞれ3ha、耕種農家と2ha分の供給契約により稲ホールクroppサイレージを利用しています。粗飼料は自給飼料でほとんど賄っており、コストの低減を図っています。

●牛群検定の活用方法

検定成績については、最初に「体細胞数」を確認し、乳房炎又は疑いのある個体を把握し、治療や淘汰の判断材料として活用しています。経済損失を考えると重要なデータであり、サンプル回収後、速報値としてFAX送信されるので、早い対応が可能です。



また、産乳成績(乳量、乳脂率、タンパク質率等)により健康状態、ボディコンディション、飼料の給与状態を確認しながら飼養管理に努めており、その結果、分娩後の授精も遅れず確実に受胎し、繁殖成績の向上が図られています。

遺伝的改良も改良情報を確認しながら、次回の交配(種雄牛の選定等)の検討材料として活用しています。今後は「繁殖台帳webシステム」を活用しながら、さらに効率的で生産性の高い酪農経営を目指して行きたいと考えています。

●牧場から一言

牛群検定成績では牛乳サンプルから個体別に牛の状態が詳細に把握できるので、トラブルを起こしている牛がないか早期に確認できます。そして速やかに改善することが可能です。

また、検定成績は情報量が豊富ですが、活用次第では、飼養管理、繁殖管理、乳質・衛生管理、遺伝的改良の手段として活用できるので、低コストで安定的な酪農経営を持続していくためには、重要な手段だと考えます。

(文責：大崎農業改良普及センター 豊島)

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------|-------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | ((一社)宮城県畜産協会内) | TEL: 022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | ((一社)宮城県畜産協会仙南事業所内) | TEL: 0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | ((一社)宮城県畜産協会中央事業所内) | TEL: 0229-34-3304 |

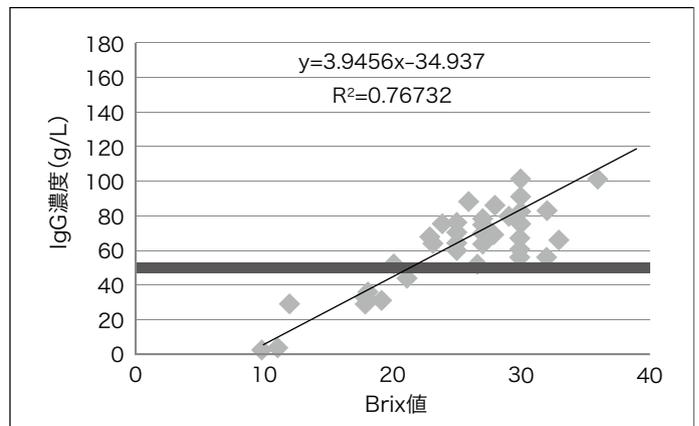
● 初乳の質を、濃度計で測ろう!

免疫力の無い子牛が十分な移行抗体(IgG)を受け取るためには、IgGの豊富な初乳であることが重要です。果物の糖度などを測る濃度計(糖度計)を用いることで、初乳の品質を推測することができます。

子牛の健康のためには、IgG濃度が最低50g/L以上必要といわれていますが、濃度計での数値(Brix値)が22%以上あれば良質な初乳であることがいえるようです。(右図)

濃度計で初乳を測り22%以上の初乳だけを子牛に使い、満たないときや足りないときは初乳製剤や、良質な凍結初乳で補うようにしましょう。

Brix値とIgG濃度の相関



明治飼糧(株)水戸研究所2015-16

● さっそく初乳を測ろう!

光学式濃度計



Amazonなどの通信販売で「濃度計」「糖度計」などで検索3,000円程度で購入可能です。

簡単・分かりやすい!



電子式濃度計

ボタン一つで簡単操作。今なら(株)明治の紹介によりご自宅へお届けできます。

詳しくは支所または指導課まで。

実際に!

初乳の濃度を測ってみました!

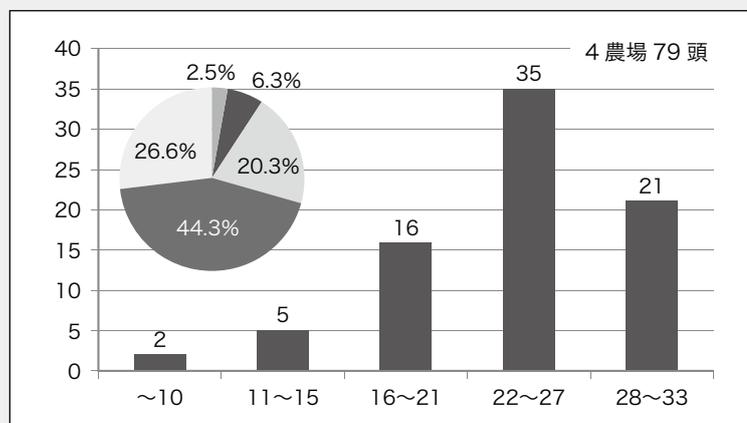
宮城県内の酪農家さんにご協力いただき、実際に分娩した牛の初乳を濃度計で計測していただきました。(4農場79頭)

その結果…なんと、

約3割の初乳が不適切

であることが疑われました。

今まで知らずに子牛に飲ませていたと考えられます。



ご協力いただいた生産者様、ありがとうございました。

資料提供 (株)明治 酪農部 生産グループ

宮城県酪農動向調査について

指導課

平成29年8月1日現在の宮城県酪農動向調査結果をご報告します。

当組合においては生乳出荷戸数291戸、乳牛飼養頭数は11,219頭、1戸当たりの平均飼養頭数は38.5頭となっております。

1年前と比較すると、生乳出荷戸数で10戸の減少、飼養頭数で139頭の減少となっております。

(単位:戸・頭)

組合名	平成29年8月1日						平成28年8月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農仙南支所	110	5,513	3,028	486	670	1,329	113	5,594	3,093	430	739	1,332	-3	-81	-65	56	-69	-3
みやぎの酪農本所	132	4,244	2,813	420	393	618	139	4,375	2,797	493	428	657	-7	-131	16	-73	-35	-39
みやぎの酪農登米事業所	49	1,462	1,042	140	103	177	49	1,389	931	164	113	181	0	73	111	-24	-10	-4
みやぎの酪農(計)	291	11,219	6,883	1,046	1,166	2,124	301	11,358	6,821	1,087	1,280	2,170	-10	-139	62	-41	-114	-46
全農宮城県本部	83	2,743	1,839	285	323	296	85	2,834	1,948	281	336	269	-2	-91	-109	4	-13	27
宮城酪農	141	5,163	3,239	526	530	868	147	5,276	3,306	526	515	929	-6	-113	-67	0	15	-61
合計	515	19,125	11,961	1,857	2,019	3,288	533	19,468	12,075	1,894	2,131	3,368	-18	-343	-114	-37	-112	-80

理事会通信

指導課

【第6回理事会】

開催日 平成29年9月29日

付議事項 第1号議案 総務委員会に対する諮問について

第2号議案 業務委員会に対する諮問について

第3号議案 就業規則等の一部変更について

【第7回理事会】

開催日 平成29年10月31日

付議事項 第1号議案 平成29年度上半期決算について

第2号議案 原子力発電所事故被災者稲わら等緊急支援対策事業(新スキーム事業)に係る対策について

9月1日	加美郡総合畜産共進会	加 美 町
9月2日	一迫・築館・瀬峰支部合同交流会	栗 原 市
9月4日	婦人部研修旅行 ～5日	千 葉 県
9月5日	酪農共済戸別推進 ～6日	本 所 管 内
	全国和牛能力共進会宮城県出発式	美 里 町
9月7日	全国和牛能力共進会 ～11日	仙 台 市
	酪農共済戸別推進	登米事業所管内
	モ～ランドまつり実行委員会	気 仙 沼 市
9月8日	酪農共済戸別推進	仙南支所管内
	大崎支部研修会(和牛全共視察)	仙 台 市
	全国JAコンプライアンス実践トップセミナー	東 京 都
9月11日	人事労務基礎研修 ～12日	名 取 市
9月13日	子育て応援団すこやか2017出展社説明会	仙 台 市
9月14日	牛乳・乳製品利用料理コンクール書類審査会	仙 台 市
9月18日	どうぶつフェスタ	仙 台 市
9月19日	雪印メグミルク(株)との懇談会 ～20日	仙 台 市
9月20日	東北酪農生産研究会国内研修 ～22日	兵 庫 県
	東電損害賠償宮城県協議会第56回総会	仙 台 市
	白石支部研修会	仙 台 市
	楽酪事業打合せ会(申請書類関連)	本 所
	管理・総務担当部課長会議	仙 台 市
9月21日	(一社)中央酪農会議理事会・臨時総会	東 京 都
	酪政連東北ブロック協議会役員研修会 ～22日	秋 田 県
9月22日	楽酪事業打合せ会(申請書類関連)	仙 南 支 所
9月23日	彼岸花の里まつり	大 崎 市
9月25日	志津川支部交流会	石 巻 市
9月26日	宮城県総合畜産共進会(乳用牛の部)	美 里 町
	雇用管理セミナー	仙 台 市
9月27日	G A P 指導員基礎研修 ～29日	東 京 都
	(一社) J ミルク理事会	東 京 都
9月28日	畜産みやぎ下半期編集委員会	仙 台 市
9月29日	全酪連乳用育成牛斡旋・初妊牛売買事業全体会議 ～30日	北 海 道
	第6回理事会	本 所
9月30日	棚卸監査	仙 南 支 所 他
10月2日	棚卸監査	本 所
10月3日	畜産G A P 推進東北ブロック会議	仙 台 市

10月6日	青年部本吉支部釣り大会	南三陸町
10月8日	モ〜ランドまつり2017	気仙沼市
10月11日	東北酪農生産研究会海外研修説明会・壮行会	仙台市
10月12日	生乳の安全・安心の確保のための宮城県協議会	本所
10月14日	酪農理解醸成活動	仙台市
	子育て応援団すこやか2017 ～ 15日	利府町
10月16日	(一社)全国酪農協会役員会	東京都
	東北酪農専門団体協議会組合長懇談会 ～ 17日	仙台市
10月17日	スマートフィーディング実証事業現地検討会	北海道
	宮城県酪農ヘルパー利用組合役員会	本所
10月18日	宮城県酪農団体協議会担当者会議	本所
	生乳成分検査の適正化に係る打合せ	本所
10月19日	東北生販全国連再委託研修会 ～ 20日	福島県
10月20日	全酪連事業推進委員会	仙台市
10月23日	宮城県生乳取扱者認定講習会 ～ 24日	仙台市
10月24日	東北生販事業推進委員会	仙台市
10月26日	牛乳・乳製品利用料理コンクール宮城県大会	仙台市
10月27日	東北生販生乳受託販売委員会	仙台市
10月30日	新スキーム事業税務関連打ち合せ	本所
	宮城県牛乳協会「おいしいミルクセミナー」	仙台市
	婦人部仙台支部研修会	仙台市
	全国和牛能力共進会宮城県報告会 ～ 31日	仙台市
	体外受精卵移植技術者情報交換会・研修会 ～ 31日	福岡県
10月31日	宮城県畜産課職員研修	富谷町
	役員研修・第7回理事会	栃木県

[編集後記]

12月に入り冬至をむかえます。冬至には、「ん」のつくものを食べると「運」が呼びこめるといわれており、その代表的なものが「かぼちゃ（南瓜）」だそうです。

また、かぼちゃといっしょに食べる小豆には、小豆の色が魔除けや厄払いに通じるそうです。かぼちゃで運気を上げ、あずきで厄災を吹き飛ばしましょう。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)